



長澤取締役(左)と浦原マネージャー

ヴォラーレ

ネット掲示板の悪質な書き込み

誹謗・中傷対策を支援

「〇〇運送 悪徳」「〇〇物流 事故」「〇〇運輸 ちゃんねる」
「〇〇社長 セクハラ」。インターネットの掲示板に誹謗・中傷を書き込まれ、頭を抱える運送事業者は少なくない。ひと昔前であれば、「そんな落書きは気にしない」と無視することもできたが、HPで検索する荷主も取引先が増え、そうも言っていられないのが現状。求人にも影響を及ぼすこの難問について、最近の傾向と対策を調べた。

(大西友洋)

やっかいなのは、ヤフーやグーグルなどの大手検索サイトでは、悪質な書き込みをしてい

るページが検索結果の上位に表示されやすいことだ。たとえば、荷主担当者(〇〇運送)と検索会社HPが検索結果のトップに表示されたとしても、3番目に、前述の目を覆いたくなる見出しが並んでしまえば、誰しも



興味本位でのぞいてしまつたのは間違いない。そこに、「〇〇運送は事故が多い」「荷扱いが悪い」「社長がヤクザ」など、あることないことを好き勝手に書き込まれている。その運送事業者の信用は確実に失墜する。実際に検索サイトで見たら、悪口を読まれた後で、「当社は信頼できる会社です」とHPでPRしても色眼鏡で見るのは確実。多額のコストをかけて作ったHPが逆効果になる可能性もある。

長澤氏は、「退職者が会社や上司を恨み、内部事情や社外秘を暴露している」ともあ

る。この「誹謗・中傷」対策を支援する「ヴォラーレ」(東京都)は、高度なSEO技術を駆使したもの。サービス開始から7か月で上場企業も含む50社の依頼を受け、200サイト以上の排除に成功しているという。

一般的にインターネットで検索する場合、検索結果の2ページ目まで調べるユーザーは少なく、多くは1ページ目までしか見ないと言われている。1ページ目には10サイトしか表示されないため、取引先に見られたいサイトは10番目に落ちて2ページ目に表示されてしまえば、顧客の目に触れる可能性が大幅に下がる。

同社はブログを中心とした500以上の自社サイトを運営しており、そのうち50サイトをクレームサイト排除のために活用。これらのサイトに、依頼主の企業名やサービス内容を記述していくことで、検索結果の上位を占め、悪質サイトを2ページ目に押し下げる。

費用は、対象キーワードごとの初期着手金が5万円。排除・維持に対する成果報酬が、対象URLごとに月額2万5000円。なお、ヤフーとグーグルは別キーワード扱いとなる。詳細は同社HP、<http://www.volare.jp/>

ある。この「誹謗・中傷」対策を支援する「ヴォラーレ」(東京都)は、高度なSEO技術を駆使したもの。サービス開始から7か月で上場企業も含む50社の依頼を受け、200サイト以上の排除に成功しているという。

「交渉」しても解決に至らずこの難問への対策は

「交渉」しても解決に至らずこの難問への対策は